

議員定数改正に向けた 取り組みの経過について

鳥取市議会議員定数等に関する
調査特別委員会

特別委員会について

(1)委員会名 議員定数等に関する調査特別委員会

(2)調査事項 議員定数等に関する調査研究

(3)構成員

委員長	上杉栄一	副委員長	上紙光春
委員	砂田典男	委員	下村佳弘
委員	児島良	委員	有松数紀
委員	角谷敏男	委員	谷口秀夫
委員	両川洋々		

(4)設置年月日 平成23年6月12日

特別委員会設置に至る背景（1）

1 地方自治法における議員定数（法改正前）

市議会議員の定数は、地方自治法において人口区分に応じた上限数が定められ、直近の国勢調査結果を基にその定数が定められてきた。

定数上限	人口10万以上20万未満の市	34人
	人口20万以上30万未満の市	38人

最近の国勢調査における人口

平成17年国勢調査	201,740人
平成22年国勢調査	197,449人

特別委員会設置に至る背景（2）

2 地方自治法改正による議員定数の上限撤廃

平成23年の法改正により、地方公共団体の自由度の拡大を図るための措置として「議員定数の法定上限が撤廃」され、市の条例で独自に議員定数を定めることができるようになった。

市民に説明できる議員定数に対する考え方を構築する必要が生じてきた。

鳥取市議会議員の定数の推移

改選期等	議員数	条例定数	法定数	備考
平成14年12月	32	32	34	
平成16年11月 (市町村合併)	44	32	38	合併特例法の規定による経過措置 【内訳】 旧鳥取市 32 , 旧国府町 2 旧福部村 1 , 旧河原町 2 旧用瀬町 1 , 旧佐治村 1 旧気高町 2 , 旧鹿野町 1 旧青谷町 2
平成18年12月	36	36	38	
平成22年12月	36	36	38	

特別委員会の調査研究

- 1 委員会の開催（13回）
- 2 先進地視察の実施
 - (1)福島県会津若松市
 - (2)新潟県上越市
 - (3)長野県塩尻市
- 3 市民アンケートの実施

特別委員会の開催状況（1）

回数	年月日	内容
第1回	H23.06.13	正副委員長の互選
第2回	H23.06.21	視察日程について
	H23.08.03 ～08.05	先進地視察（会津若松市、上越市、塩尻市）
第3回	H23.09.29	視察の取りまとめについて 今後の進め方について
第4回	H23.12.21	検討課題の調査事項について
第5回	H24.04.09	検討課題の調査事項について 議員定数について
第6回	H24.06.08	検討課題の調査事項について 市民アンケートについて

特別委員会の開催状況（2）

回数	年月日	内容
第7回	H24.07.03	検討課題の調査事項について 市民アンケートについて
第8回	H24.08.03	市民アンケートについて
第9回	H24.09.24	市民アンケートの中間報告について
第10回	H24.10.19	市民アンケートの最終報告について
第11回	H24.11.06	議員定数について
第12回	H24.11.28	委員長報告について
第13回	H24.12.14	委員長報告について

特別委員会での研究・検討事項

- ・ 法令の動向
- ・ 他都市（特に特例市）の状況
 - 定数改正した都市の改正に至る経緯
 - 事務局内の法制担当職員の配置状況
- ・ 議会活動・議員活動の範囲
- ・ 本市の将来人口、面積、地形
- ・ 議会費総額と歳出に占める議会費の割合
- ・ 議員間討議のできる常任委員会の委員数
- ・ 執行部への政策提言状況
- ・ 市民の意見

議員定数改正の取組み（会津若松市）

- ・ 市民福祉の向上のため、どのように議会機能を維持・向上させていくことができるか、という視点から議員定数を検討
- ・ 議会機能の生命線である「議員間討議」が有効に機能する議員数を重要な基準として採用
- ・ 監視機能、政策立案機能、民意吸収機能それぞれのメリット、デメリットを検証
⇒ 一委員会あたりの委員数を7～8人とし、「30人」を議員定数とした。

30人 → 30人（変更なし）

（平成24年10月1日現在人口124,794人）

議員定数改正の取組み（上越市）

- ・ 将来の人口減を念頭に、改正前自治法の「10万～20万未満」の議員数上限34人以下とした。
- ・ 「市民の意見の聞く会」や「市民アンケート調査」から、多くの市民が議員定数の削減を望んでいるとし、さらに2人削減した「32人」が適当とした。
- ・ 合併で広大な面積を有し、様々な問題を抱える当市の特性や市民の多様な意見の代弁者としての責務を遂行しながら、議決機関としての機能を十分果たせる人数とした。

48人 → 32人

（平成24年10月1日現在人口204,015人）

議員定数改正の取組み（塩尻市）

- ・ 議会の役割・活動・議会改革等を念頭に、議員自ら結論を出すとし、全議員の考えを聞きながら研究
- ・ 市民の負託を受けた議会が、委員会の審査機能など議会の機能を果たせる数として、2人削減とした。
- ・ 議員一人当たりの市民数を県内の同規模市の平均数とすることを2人削減の根拠とし、削減理由は、
 - ①議会としても改革に取り組むべき
 - ②特別委員会を設置し、定数を削減することで、議会自ら進んで改革する姿勢を市民に明確に示す

24人 → 22人

（平成24年10月1日現在人口 67,093人）

鳥取市議会に関する市民アンケート

1 目的

議員定数検討の参考資料とするため、広く市民の意見を収集し、意向を把握する。

2 調査対象

満20歳以上の市民2,000人（無作為抽出）

3 調査方法 郵送による無記名アンケート調査

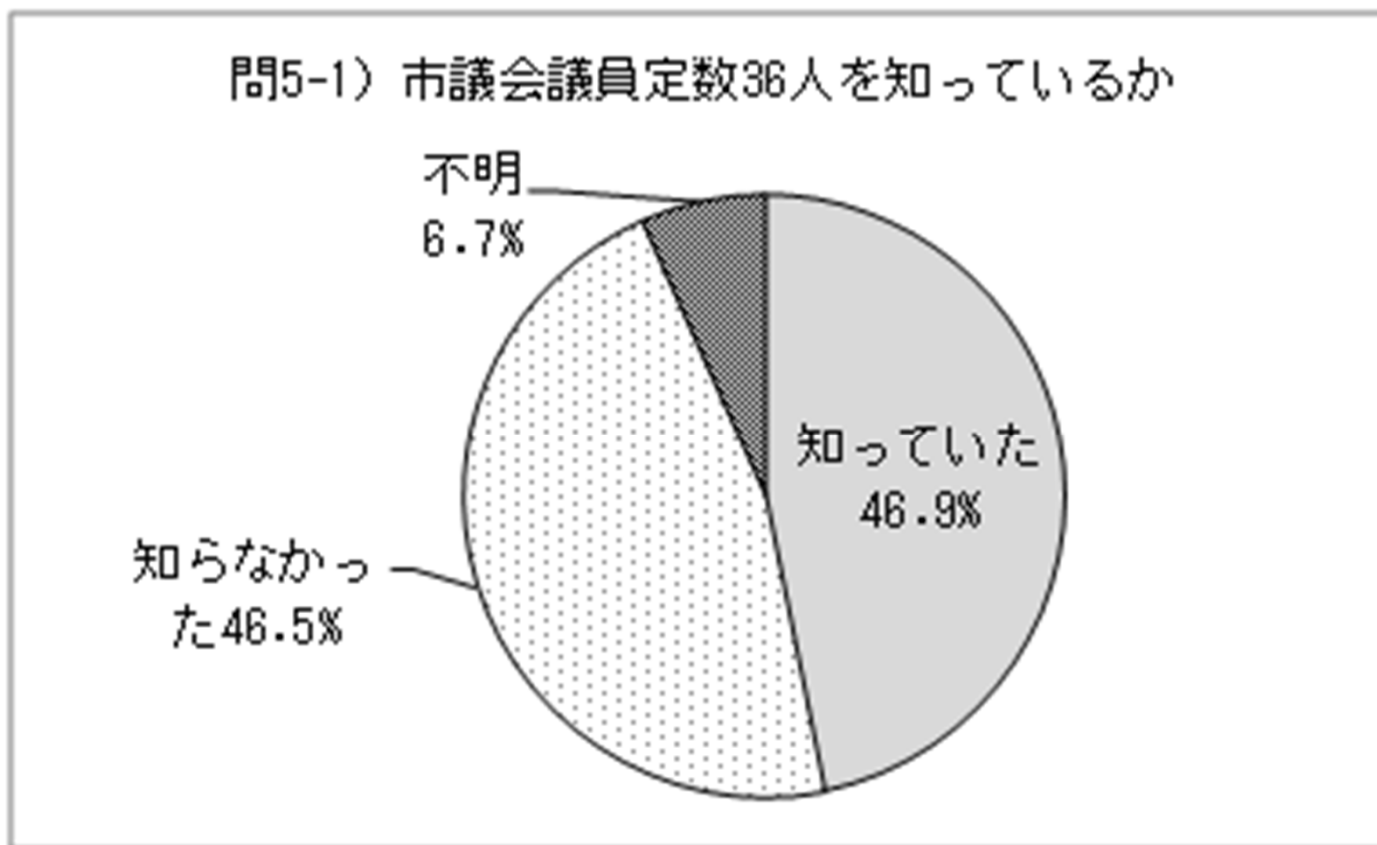
4 調査期間 平成24年8月16日～8月30日

5 回収数 691枚

6 回収率 34.6%

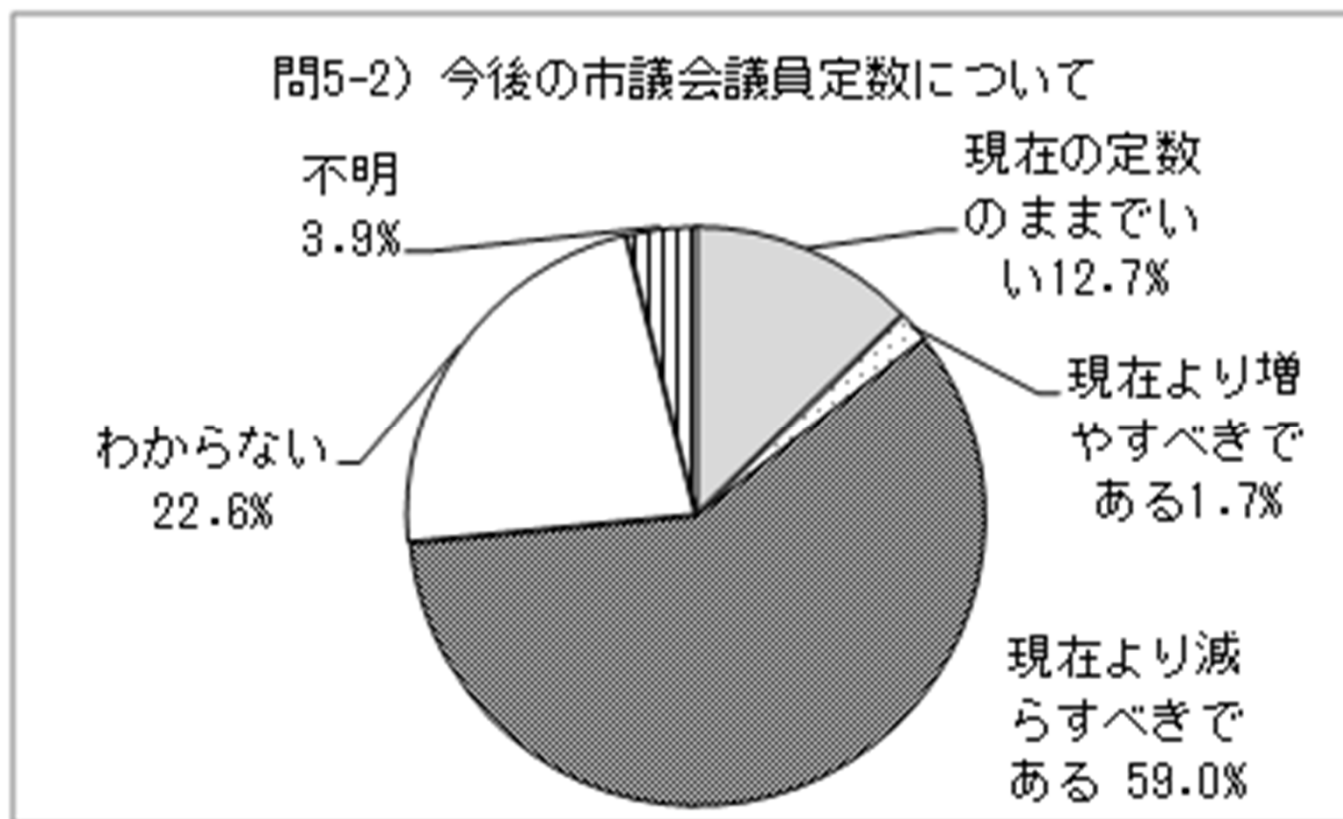
市議会議員の定数に対する意向

市議会議員の定数36人を知っていたか



市議会議員の定数に対する意向

今後の議員定数について



市議会議員の定数に対する意向

今後の議員定数について

問5-2) 議員定数: 増やすべき

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	1	8.3
2	4人	3	25.0
3	5人	1	8.3
4	10人	5	41.7
5	30人	1	8.3
	不明だが増やす	1	8.3
	サンプル数	12	100.0

問5-2) 議員定数: 減らすべき

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	1	0.2
2	2人	53	13.0
3	3人	17	4.2
4	4人	30	7.4
5	5人	26	6.4
6	6人	85	20.8
7	7人	2	0.5
8	8人	36	8.8
9	10人	77	18.9
10	12人	2	0.5
11	14人	1	0.2
12	15人	5	1.2
13	16人	15	3.7
14	17人	1	0.2
15	18人	11	2.7
16	20人	6	1.5
17	30人	2	0.5
18	32人	1	0.2
	不明だが減らす	37	9.1
	サンプル数	408	100.0

議員定数以外の 市民アンケートの質問項目

アンケートでは、議員定数に関する意向のほか、

- ・ 市議会への関心度
- ・ 市議会議員の活動
- ・ 市議会への市民の意見の反映度
- ・ 市議会に対する評価
- ・ 市議会への意見・要望等

について、市民の皆さんからたくさんのご意見をいただきました。

この結果を踏まえ、今後、議会改革に取り組む場を議会内に設置されるよう、委員会の最終報告で求めたい。

市民団体からの要望

鳥取市自治連合会（24.10.15）

現在より10人減の26人とすべき。

（根拠）

全国の特例市の議員定数を人口で除した平均値

「人口7,700人あたり1議員」をもとに算出

鳥取市自治連合会・鳥取市老人クラブ連合会・鳥取市連合婦人会・鳥取市消費者団体連合会（24.12.14）

現在より10人減の26人とすべき。

（根拠）

行財政改革の痛みを市民と共有すべき

多くの市民が非常な関心を持っているため。

特別委員会の議論

先進的事例の研究、本市の状況、市民アンケート、団体からの要望等を踏まえ、特別委員会で議論をおこなった。

- ・ 行政面積、合併町村等地域の実情を勘案すべき
- ・ 単に人口比で定めるべきではない
- ・ 合併後8年経過してなお地域特有の課題が山積している中、大幅な定数削減は慎重にすべき
- ・ 現状の4委員会制を維持すべき
- ・ 活発な議論を行うため、1委員会8人とすべき
- ・ 市民の意見を反映し、市政を監視するため現定数を維持すべき

特別委員会の議論結果

現定数より4人減の「32人」が適当
平成24年12月定例会にて中間報告

今後の予定

市民説明会の実施（本日）

平成25年2月2日、3日（市内5カ所で開催）



市民説明会の結果を踏まえ委員会で議論



平成25年2月定例会

- ・ 委員会最終報告
- ・ 「鳥取市議会の議員の定数を定める条例」
改正案の提出



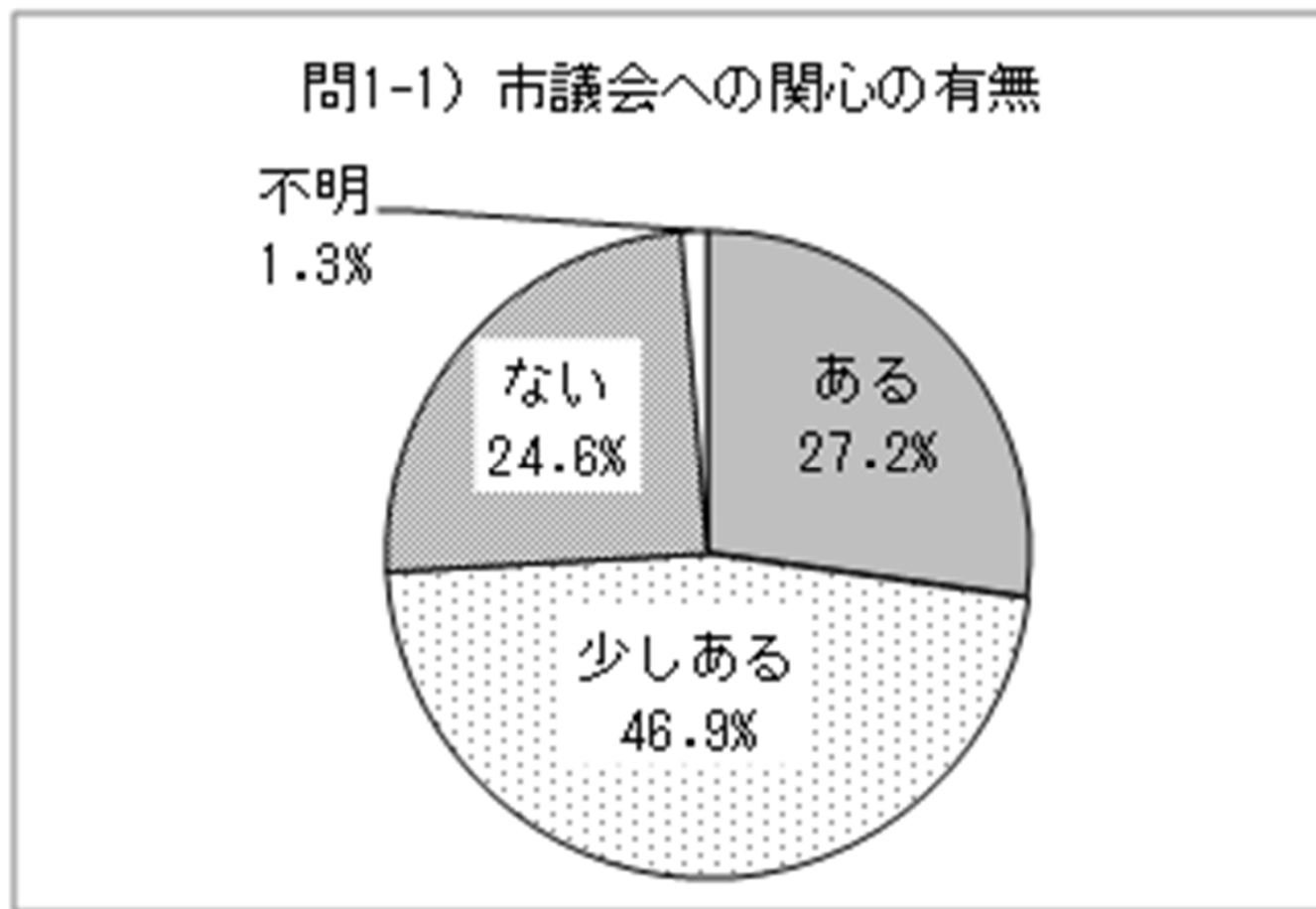
次回市議会議員選挙から適用

鳥取市議会に関する 市民アンケート調査結果

鳥取市議会議員定数等に関する
調査特別委員会

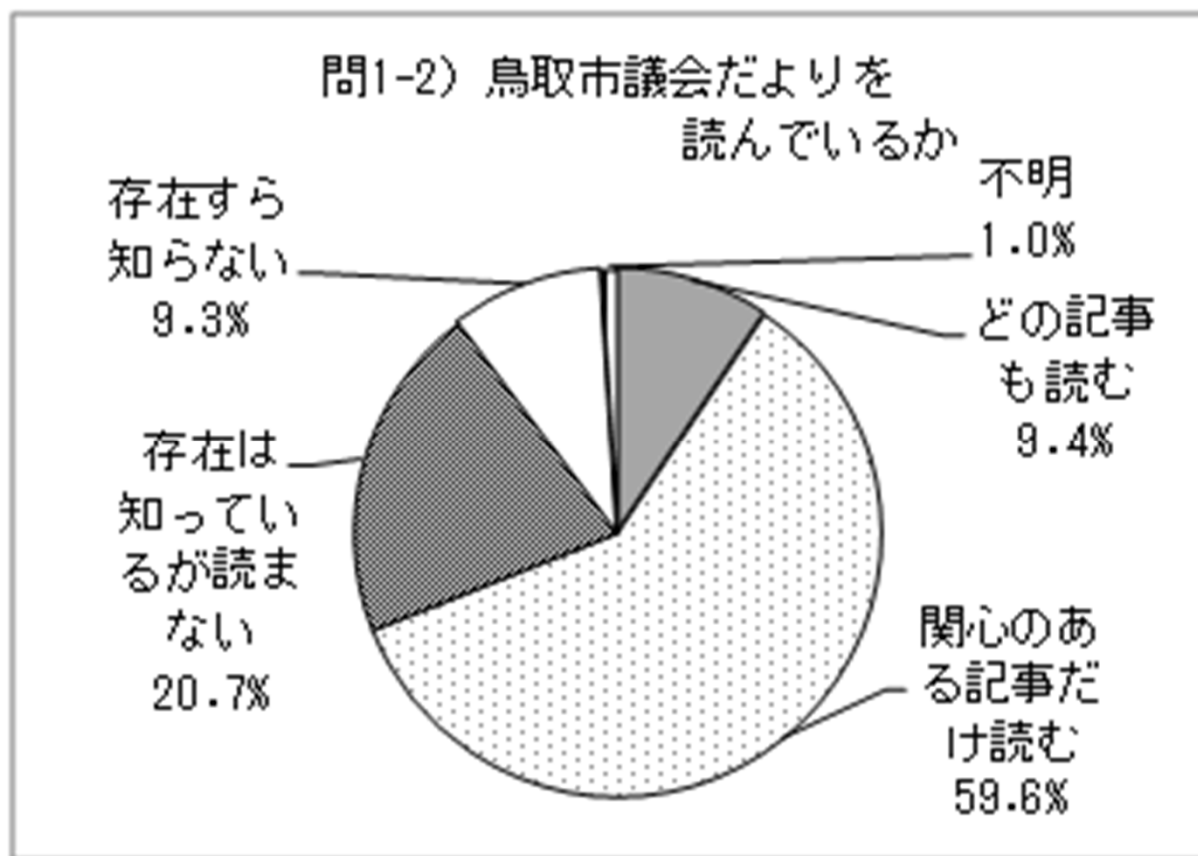
1 市議会への関心度

1-1 市議会への関心の有無



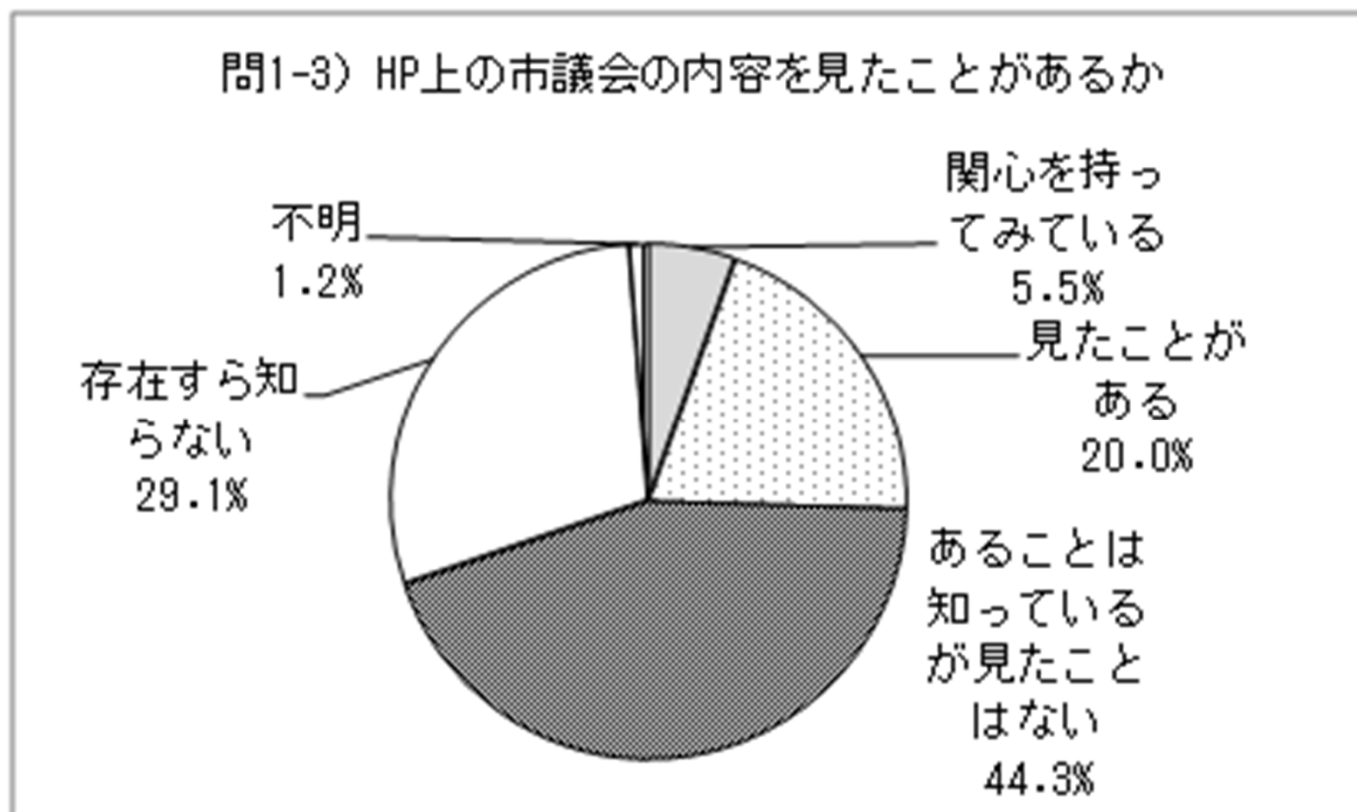
1 市議会への関心度

1-2 鳥取市議会だよりを読んでいるか



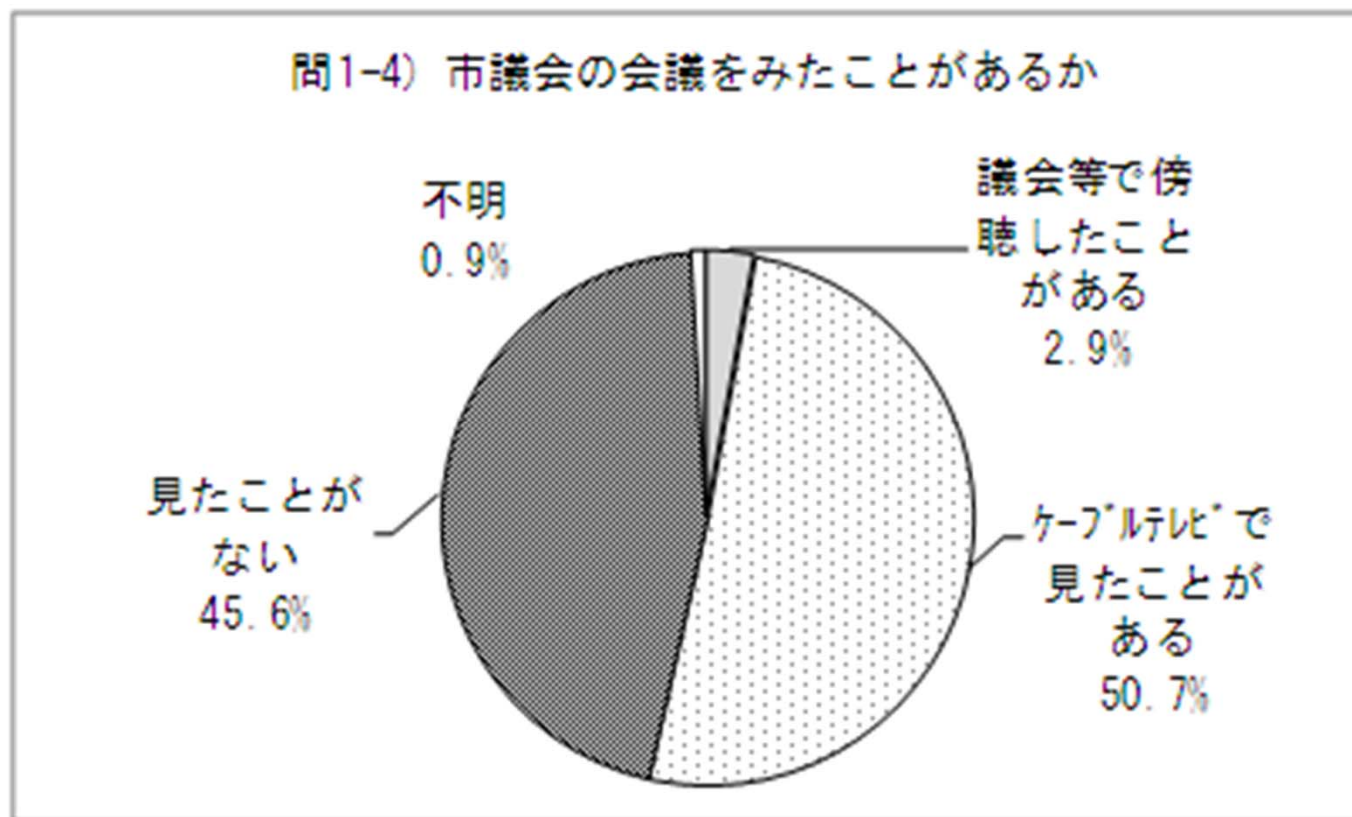
1 市議会への関心度

1-3 ホームページの市議会の内容を見たことがあるか



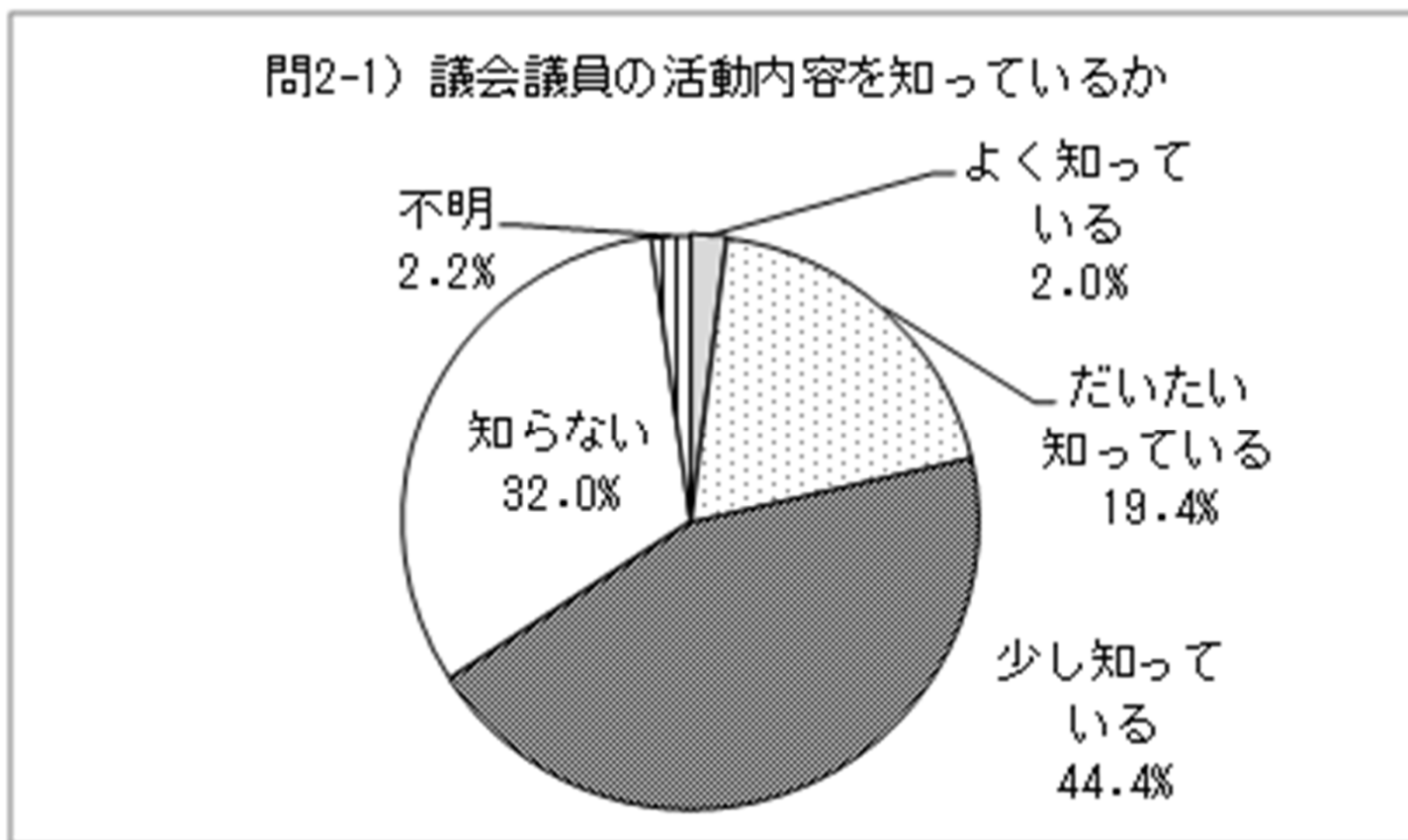
1 市議会への関心度

1-4 市議会の会議を見たことがあるか



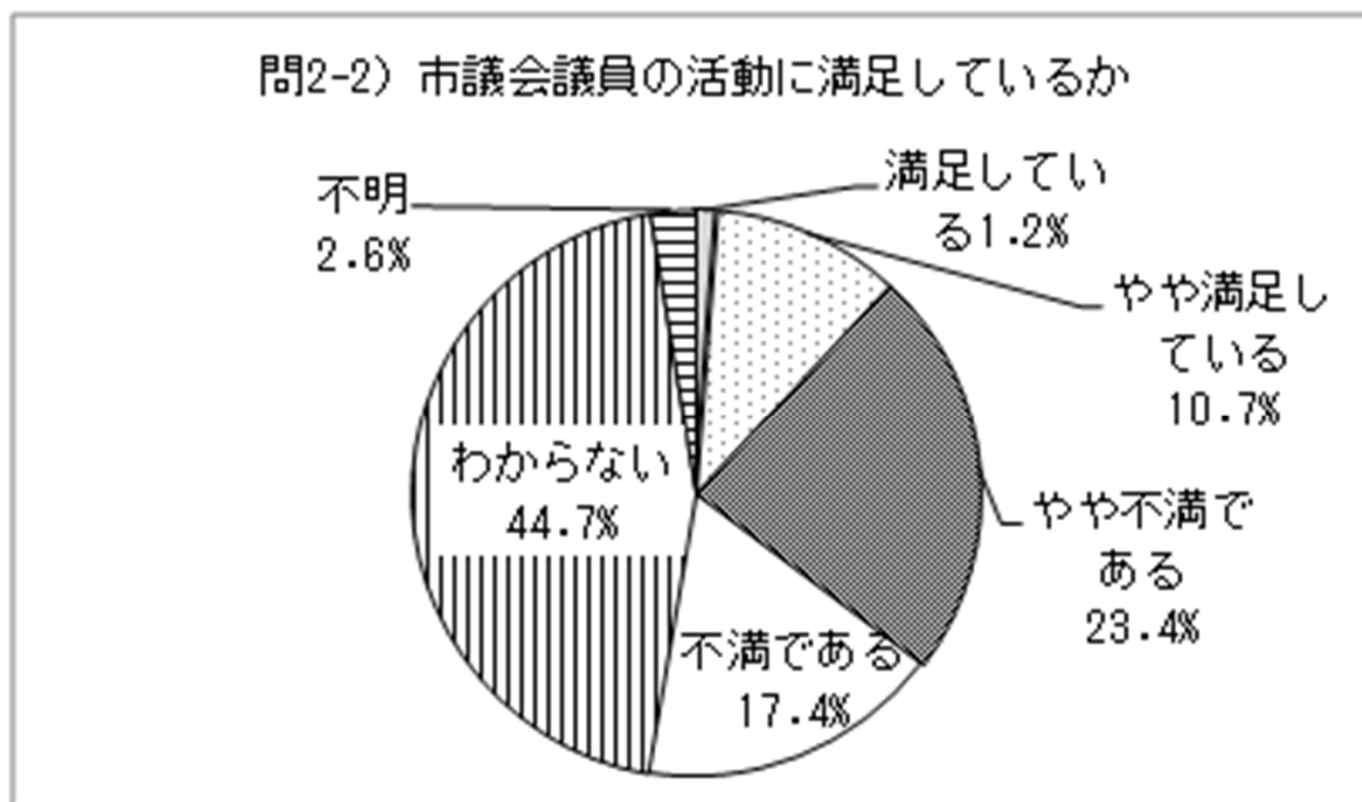
2 市議会議員の活動

2-1 市議会議員の活動内容を知っているか



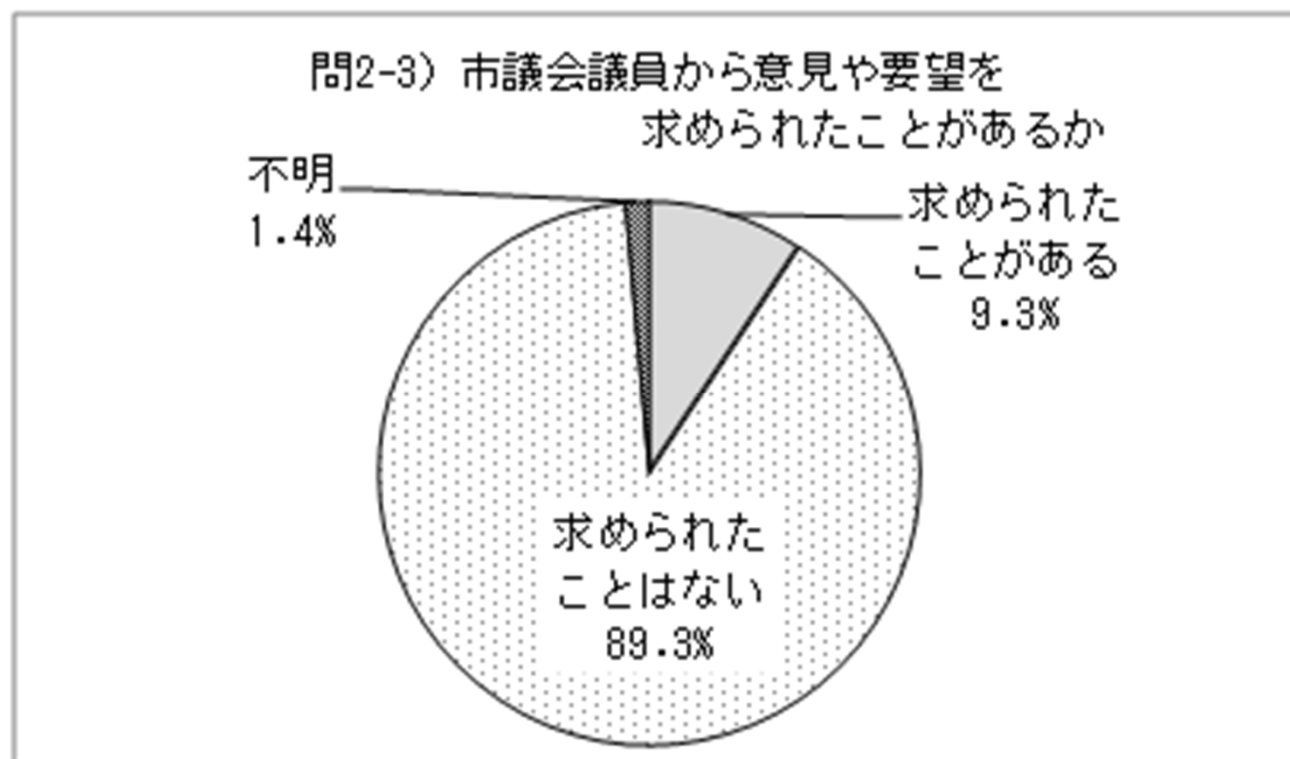
2 市議会議員の活動

2-2 市議会議員の活動に満足しているか



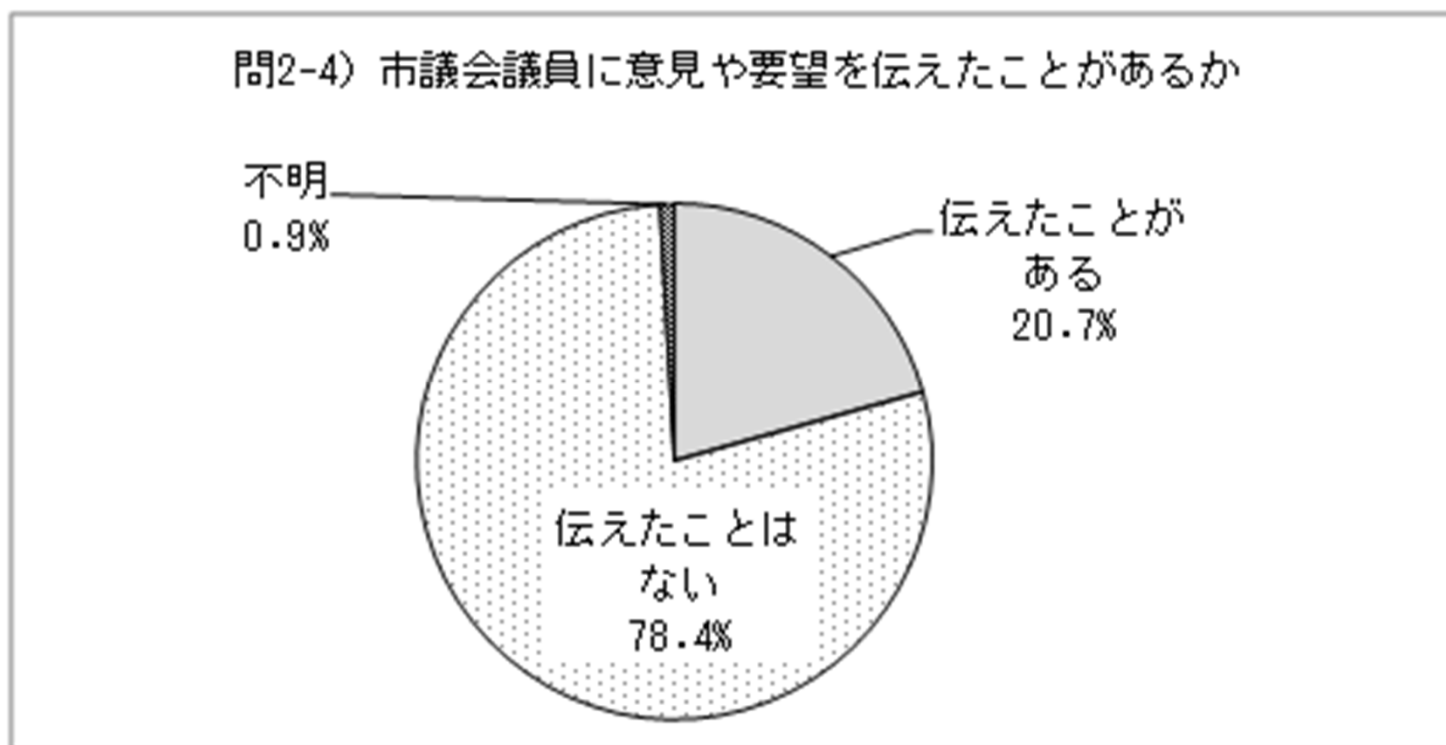
2 市議会議員の活動

2-3 市議会議員から意見や要望を求められたことがあるか



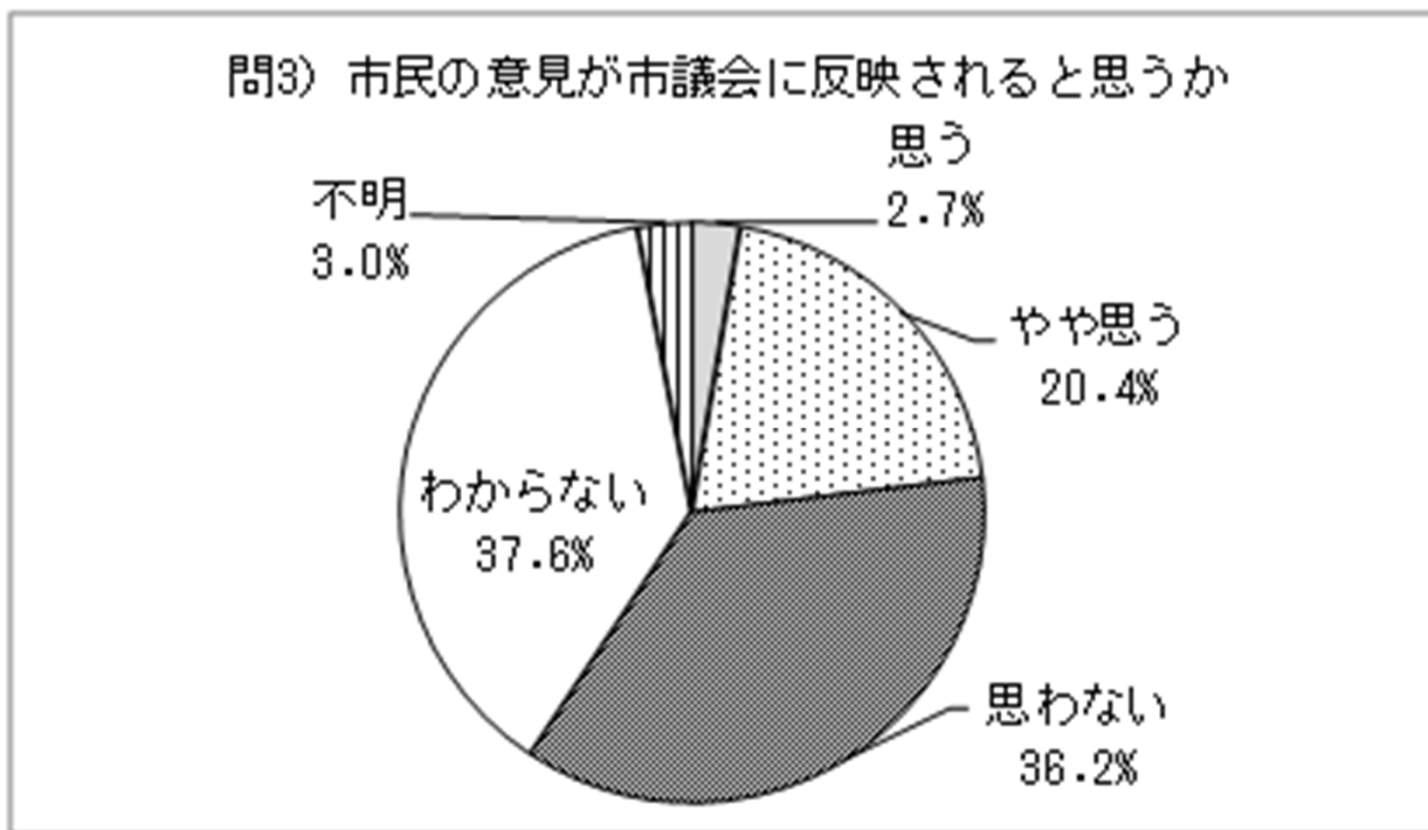
2 市議会議員の活動

2-4 市議会議員に意見や要望を伝えたことがあるか



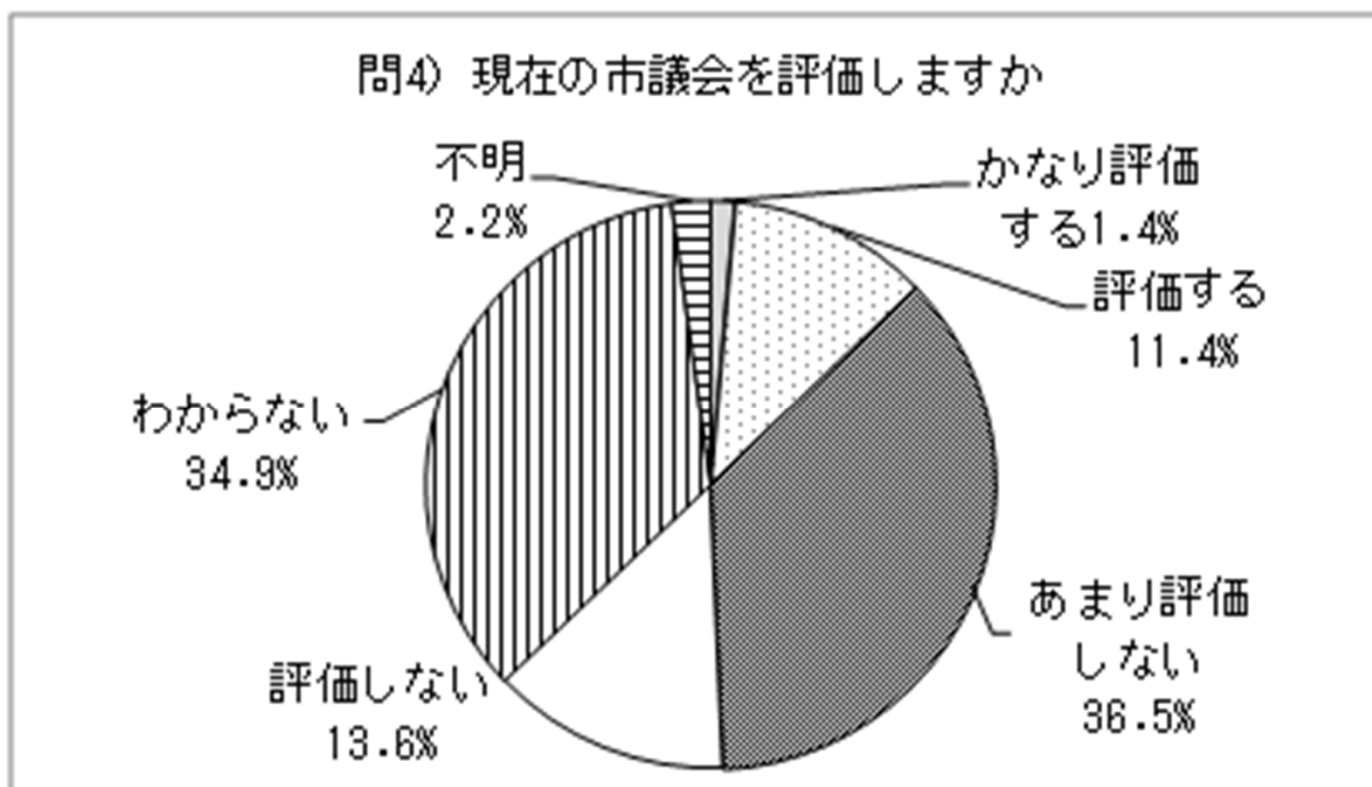
3 市議会への市民の意見の反映度

3 市民の意見が市議会に反映されていると思うか



4 市議会に対する評価

4 現在の市議会を評価するか



5 市議会への意見・要望等

- ・ 住民の意見、生の声をもっと聴いてほしい。
- ・ 自分の地域だけでなく、もっと広い地域を見て市民の方を見て動いてほしい。
- ・ 市民全体のために動いてほしい。本当に困っている人の希望が聞かれていない。
- ・ 住民が安心して暮らせる社会・地域となるよう市民の意見を聞いて議会に反映させてほしい。
- ・ 合併前より議員の活動内容が見えない。
- ・ もっと住民目線に立って市民のためになるよう努力してほしい。

5 市議会への意見・要望等

- ・ 議員は市民の代表としての自覚を持って活動すべき。
- ・ 民間企業は給与も抑制されて苦しい。議員報酬は当然引き下げるべきだ。
- ・ 報酬は議会開催に応じた日当制にすべき。
- ・ 議会中の野次は見苦しい。不快なのでやめてほしい。言いたいことは自分の時に言えばいい。
- ・ 市議会議員に立候補した時の気持ちを忘れないでほしい。
- ・ 議員の肉声を聞く機会が、開会式等で祝辞を述べられる時しかない。

5 市議会への意見・要望等

- ・ 選挙の時だけ動いている感じがする。
- ・ 意見、要望などを言う機会が少ない。
- ・ 地域の意見を聞く機会を多く持ってほしい。
- ・ 議会の活動報告会を定期的に行なっていてほしい。
- ・ 市議会が市民生活とかがわりが深いことをもっとPRすべき。
- ・ 市議会が身近に感じられる広報を考えてほしい。
- ・ 定年制を設けるべき。
- ・ 市民のために身を粉にして働く議員がいない。
- ・ 何も期待していない。

市民アンケート結果の市議会への反映

議員定数に関わる部分以外については

委員会の最終報告において、

「議会改革について調査研究を行う場」
を設置していただくよう要望する予定。